

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員
斉藤くに子
区政ニュース



2022年2月13日No1287号

区役所直通3802-4627
fax3806-9246

メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議団http://www.jcp-arakawakugidan.jp/くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/

保育園・小中学校の臨時休校に伴う対策を

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染急拡大で、保育園・小中学校等の臨時休園休校が増加しています。臨時休業により起きている様々な影響について、実態に即して緊急対応することを求めました。



**濃厚接触者でない子どもたち
検査で陰性確認して受入れを**

臨時休園での緊急保育のベビーシッターは需要が急増し足りない。濃厚接触者でない子どもたちの抗原検査で陰性確認し受入れを行うこと。

**ゆいの森やふれあい館
子育てサロンの利用改善を**

ゆいの森の遊びラウンジやふれあい館などの子育てサロンで臨時休園休校中の保護者と子ども、児童・生徒の一律に利用不可とする対応はやめること。感染対策の強化は、入館前に抗原検査で陰性確認してもらうなど、科学的根拠に基づき行うこと。

子どものマスク着用を強制しないこと

公共施設での幼児のマスク着用に関して、強制はせず、柔軟に対応すること。幼児がマスク着用していないことを理由に、一律に利用を拒むことはしないこと。マスクが着用できない子ども・大人に対し、差別をうまない環境づくりを徹底すること。



小学校休業等助成金の改善を

小学校休業等対応助成金について、教育委員会、子ども家庭部からメールやチラシ配布するなど保護者への周知を徹底し、産業経済部からは事業者に対しても実施を促すこと。

制度について、個人申請の簡素化など保護者が利用しやすいよう、国へ改善をもとめること。当面、小学校休業等対応助成金を利用できない保護者に対し、区独自の助成を実施すること。

**モデルナのワクチン
予約空いています。**

オミクロン株の感染拡大の状況を踏まえ、2回目の接種日から原則7か月経過後としていた18歳から64歳までの方についても接種間隔を6か月へ前倒して接種を開始。

モデルナのワクチン接種会場(ホテルラングウッド・

町屋ふれあい館)は2月7日現在、十分空きがあります。



★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時～

2月21日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮対策相談に応じます。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax3806-5134

コロナウイルスとの関係で定例法律相談は完全予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。

区議会2月会議 2/14～3/15まで

荒川区の新年度予算などを審議する2月会議が、2月14日(月)～3月15日(火)まで開催されます。

日本共産党区議団はまずは本会議で

●コロナ対策(ワクチン・検査・自宅療養の独自支援・保健所の強化・中小業者支援・子ども支援)●区直営の大事さ●地球温暖化対策●震災対策●住宅対策●公園児童遊園のトイレ改修●高齢者補聴器助成重度●障害者グループホーム増設●同性パートナーシップ制度の理解促進を取上げます。予算特別委員会では様々な角度から議論します。みなさんの声もお寄せください。

2月14日(月)9:30～ 全員協議会・本会議(一般質問)
17日(木)10:00～ 本会議(一般質問)
21日(月)10:00～ 総務企画・福祉区民委員会
22日(火)10:00～ 文教子育て支援・建設環境委員会
25日(木)～3月10日(木)10:00～ 予算特別委員会
3月15日(火)9:30～ 全員協議会・本会議

新年度予算案～1,071億円(+1.1%)の大型予算

区議会2月会議で審議する新年度一般会計予算案は1,000億円を超えます。

重点施策に挙げているのは

- ①新型コロナ対策には30億9399万円
- ②女子医大移転後の新病院開設12.2億
- ③新病院整備と一体で行う宮前公園整備2.7億円
- ④あらかわ遊園リニューアルオープン6.2億円



医療機関と連携・十分な検査体制・中和抗体薬療法
医療用共ステーション設置・適切なワクチンを接種などをあげていますが、現場や区民の実態からもっと充実・新規事業の具体が必要。

新規拡充では



①医療的ケア児支援(2,350万円:必要な関係機関やサービスにつなげるコーディネーターに配置・きょうだい児家庭へのヘルパー派遣)

②多胎児世帯支援(980万円:タクシー助成2才⇒5才までに拡大・妊婦検診一部助成)

③子ども居場所(1,880万円:不登校ひきこもりのアウトリーチ型支援の補助)

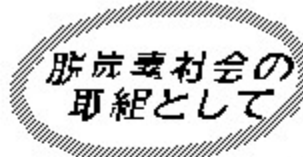
④SDGs活用経営推進(530万円:新製品開発経費の助成)

⑤事業・業態転換支援(2,350万円:新たなビジネス創出の経費助成)

⑥廃プラのモデル回収(1,590万円:一部自治体の協力で実施し課題の検証)




2月21日(月)無料法律・生活相談会



テイクアウト容器 リユース

企業が東京都と連携して、昨年、オフィスビルでリユース容器を使ってテイクアウト弁当や惣菜を販売する実証実験を行いました。

『令和2年度プラスチックの持続可能な利用に向けた新たなビジネスモデル事業報告書』が東京都環境局のホームページに掲載されていますが、リユース容器を使用したお弁当を購入した感想はとても良かった・良かったが76%となっています。容器のデザイン性・機能性の改善、返却場所の増設などの意見があり、今後の検討が必要ですが、プラごみ削減の一つとして、日常生活に組み込まれ、リユース容器が当たり前の社会になるといいと思います。

 鎌倉市駅周辺の店舗で、料理をテイクアウト容器で持ち帰り、食後は参加する店や、駅周辺に数カ所ある24時間ボックスに返却する実証実験も行われました。

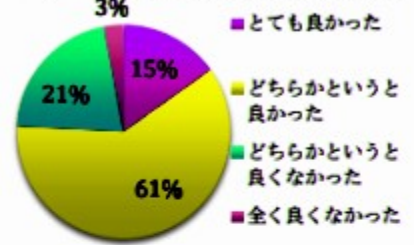
コロナ禍でテイクアウトも増えています。

荒川区でも取り組んでみたらどうでしょうか。

飲食業のみなさん、消費者のみなさんのご意見をお寄せください。



・リユース容器弁当を購入した感想



・洗浄品質について



【2月会議 提出案件】

★ 総務企画	2021年度 一般会計 補正予算(第8回) 2021年度 国民健康保険 特別会計 補正予算(第2回) 職員の勤務時間等に関する条例の一部改正 職員の育児休業等に関する条例の一部改正	9億9200万円を補正 一補正後予算額: 1201億700万円 4億3900万円を補正 一補正後予算額: 232億4500万円 職員が不妊治療をうける場合の特別有給(妊娠サポート休暇)を新設 非常勤職員が育児や部分休業を取得する際の、「在職期間が1年以上」の要件撤廃など
★ 福祉区民	応急資金貸付条例を廃止する条例 区分住宅高齢者通所サービスセンター条例の一部改正 指定障害児入所施設等の人員等の基準に関する条例の一部改正 旅館業法施行条例の一部改正 南千住ふれあい館の指定管理者の指定期間の変更について 南千住ふれあい館の指定管理者の指定について	利用者減により、応急資金貸付制度を廃止 西日暮里駅前地区再開発に伴い、区立西日暮里住宅高齢者通所サービスセンターを廃止 障がい児・者のすみ分け規定の猶予を延長 「見やすい場所に名称を掲げる」とことなど、現状の課題にあわせ設備基準等を定める 指定管理者がグループ会社に吸収分割されるため、管理者を株式会社に変更し、指定期間を改める
★ 文教子育て	保育所条例の一部改正 財産の貸付けについて 幼稚園教員の勤務時間等に関する条例の一部改正 ムーブ町屋条例の一部改正	区立西尾久保育園を民営化 区立西尾久保育園の民営化に伴い、園舎を10年間無償で貸付け 教員が不妊治療をうける場合の特別有給(妊娠サポート休暇)を新設 町屋区民事務所のムーブ町屋4F移転に伴い、ハイビジョンルーム等を廃止
★ 建設環境	道路占用料等徴収条例の一部改正 区立公園条例の一部改正 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正 住宅等の建築に係る住環境の整備に関する条例の一部改正 区民住宅条例の一部改正 特別区道の路線の廃止について	固定資産税評価額をふまえ、道路・公園の占用料を改定 南千住1・荒川1丁目地区の建築物の敷地面積の最低限度を50㎡→60㎡へ変更 共同住宅建築などにおいて、現状の課題に対応した改定を実施 区民住宅内の従前居住者用住宅を20→30戸に増設 道路の実態がなく、今後も整備不要な11路線を廃止

国保料・後期高齢者保険料の値上げストップを

2月都議会 区議会で審議へ 東京都国民健康保険運営協議会が昨年11月29日に開催され、来年度の保険料についての予測を示しています。

	2022年度予測	前年比
23区医療費総額	8,035億円	↑163億円 ↑2.1%
1人当たり医療費	300,518円	↑15,268円 ↑5.4%
1人当たり保険料	194,486円	↑14,776円 ↑6.1%
激変緩和後の1人当たり保険料	172,155円	↑14,804円 ↑9.4%

これによると国保加入者は減少する一方で、医療費給付が増加すると見込み、一人当たり保険料の平均では、14,804円(9.4%)の大幅な値上げです。

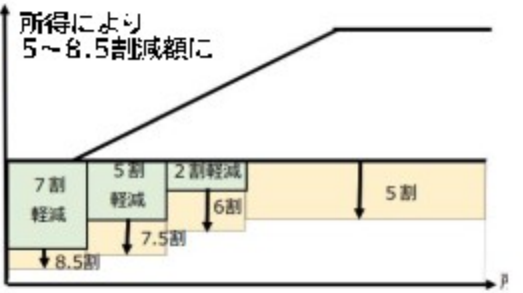
後期高齢者も 75歳以上の後期高齢者は増加、医療費給付も0.78%増加と推計されています。余剰金180億円を活用しても、国の政令通りにした場合は均等割額49,400円(5,300円増)・所得割率10.44%(1.72%増)となり、一人当たり保険料は11万1,793円で、1万740円の値上げです。

一方、これまで通り特別対策を実施しても、均等割額46,800円(2,700円増)・所得割率9.74%(1.02%増)、一人当たり合計保険料10万6,133円で5,080円の値上げ。

10月からの窓口2割負担もあり、コロナ禍で暮らしが大変な中での値上げは、区民の暮らしをさらに苦しめます。命を守る必要な医療と暮らし支援を、国も都も取り組むべきです。

未就学児 5割軽減に 4月から未就学児(6才以下)の国保料・均等割保険料は5割軽減に。

※ 現在、7割軽減対象の未就学児の場合、残りの3割の半分を減額して、8.5割軽減では、7.5割減額に。(右図参照)



木村病院移転～5階建て建築工事



2022年3月の竣工予定で工事が進んできた木村病院(一成会)の建物が立ち上がっています。

都電一中電停脇でジョイフル三ノ輪商店街のすぐそばです。5階建てかなり大型の建物となっています。

町屋からの事業移転は、4月より遅れて初夏になりそうです。コロナ禍で医療機関が移動するのは何かと大変だと思います。地域のためにもがんばってほしい。

図書館オンラインシステムのリニューアルのため 2月17日から28日までの間の休館する日があります。

ゆいの森あらかわ→17日(木)18日(金)21日(月)22日(火)25日(金)27日(日)28日(月)
南千住図書館→18日(金)21日(月)22日(火)27日(日)28日(月)

その他の図書館・ステーション・ふるさと文化館の休館もあります。

